「地球の顔」ニュース

公開№.018
責任者　佐藤 欣一

回覧確認欄

『アイコクアルファ ISO14001 のあゆみ』

新株主のみなさんが職場に配属されて約１ヶ月，そして，来年の規格改正を控えた今，改めてわが社の改善活動について振り返ってみたいと思います。

★ ISO14001：環境マネジメントシステム(EMS)とは何でしょう？

ISO14001 とは，環境を継続的に改善するための基準となる“しくみ”を定めたものです。わが社では，この“しくみ”の上に立って「お金の顔」(利益)と「人間の顔」(主体性)を大きくすると共に「地球の顔」(環境)を守るための活動に取り組んでいます。ISO の改善活動とは，私たちを取り巻くすべての「環境」に働きかけ，豊かな暮らしを自ら獲得するためにあるものなのです。

出典: JARI-RB

★ どうして ISO を始めたのでしょう？

自動車業界取引先各社からの『グリーン調達ガイドライン』に基づく認証取得の呼びかけへの対応が始まりでした。しかし，いざ取り組んでみると ISO の継続的改善が『法令順守＋リスク管理＋ムダ取り』につながり，収益改善と環境改善が同時に図れる有益なものであることが分かり，活動に拍車がかかりました。

★ アイコクアルファＥＭＳ活動のレベルアップ

Ⅰ　導入期　　2002（認証取得）～2004 年

環境改善活動の普及啓発

・紙ごみ電気などの使用量・排出量が，どのような状態になっているのか「状況の見える化」に取り組みました。

Ⅱ　第一発展期　2005（更新登録）～2008 年（更新登録）

環境改善活動の定着化

・投資を伴わない「運用方法の見直し」による改善に取り組みました。
・廃棄物は，環境美化ハウスの設置など分別回収とリサイクルの管理体制が整備され，リサイクル率も 70%から 95%に上昇しました。

Ⅲ　成熟期　2009～2011 年（更新登録）

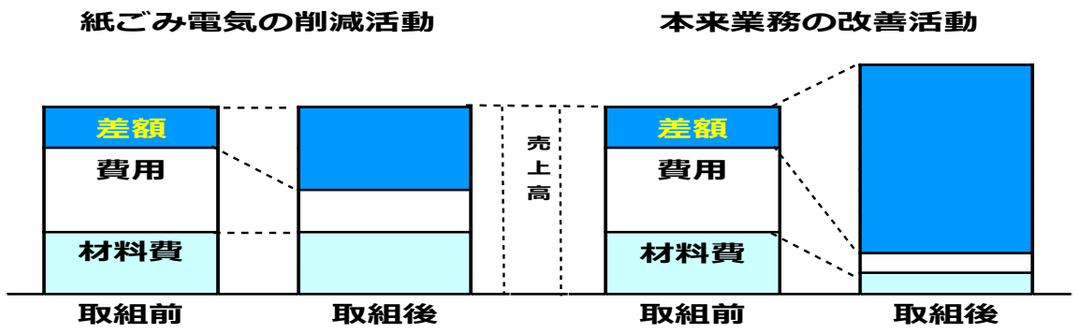
『紙ごみ電気の削減活動』から『本来業務の改善活動』への展開へ

・分別回収が定着し伊勢湾への埋立廃棄物もゼロになりました。
・リサイクル率は 99%を超え，ゼロエミッションを達成しました。

Ⅳ　第二発展期　2012～2014 年（更新登録）

『本来業務の改善活動』＋『マネジメントシステムのシンプル化』

・CF・AP(事)共にシーズン電力原単位は，過去最良を記録しました。
・環境側面調査を大幅に簡素化しました。環境側面調査とは，各部門が独自に解決しなくてはならない課題を発掘し，絞込み，確定させる方法です。



※　『アイコクアルファの本来業務の改善活動』とは？
　直接・間接の部門を問わず，それぞれの部門として取り組める《売上高アップにつながる改善活動》＋《材料費削減につながる改善活動》＋《費用削減につながる改善活動》の三位一体の改善活動 を言います。

★ 2015 年規格改正と第三発展期

認証取得から 13 年目を迎える来春，二度目の規格改正に臨みます。今回の改正では，「本来業務の改善活動＝環境改善活動」の強化と，改善の実効性をさらに高めるためのリーダーシップの強化が図られることになりました。

ISO 事務局では，この機に，システムのシンプル化をさらに加速させて，小さな改善でも大きな成果が得られるようにシステムを再構築して，次の第三発展期に繋げていきたいと考えています。